

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年5月23日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872000963		
法人名	株式会社メディカルアシスト		
事業所名	グループホーム 楓	ユニット名	西
所在地	〒305-0041 茨城県つくば市上広岡503-8		
自己評価作成日	平成23年9月25日	評価結果 市町村受理日	平成24年5月18日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0872000963&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年11月25日	評価確定日	平成24年5月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・今までの生活環境がなるべく変わらないよう、家庭的な雰囲気を作っています。・地域の方々との交流や継続的な行事の開催などを行い、利用者様の社会参加も活発に行なっています。・買い物や外出、畑作業などの個別レクリエーションが盛んです。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者や職員は利用者一人ひとりの個別性を尊重し、その人らしい暮らしができるよう日々の支援にあたっている。</p> <p>事業所を開設して8年目となるが、積極的に地域と係わり交流を深めてきた成果が表われ、行事や災害時において地域との協力関係が築かれている。</p> <p>重度化や終末期の対応は、医療関係者や家族等と協力してできるだけ利用者の思いや希望にそった最期が迎えられるよう支援をしている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時に全員で理念を唱和している。また、職員のネームプレートの裏には理念を書き、常に理念の実施に努めている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念と全職員で協議して作成したスローガンを玄関に掲示するとともに、名札の裏に記載して意識付けをしている。 朝礼時に全職員で理念を唱和し、理念にそった支援ができていないか確認しながら日々の支援にあたっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	お花見や納涼祭などの行事に地域の方を招いたり、老人会のグランドゴルフにも参加している。保育所との交流も盛んで、行事に招待され伺っている。	自治会に加入し、老人会のグランドゴルフや清掃活動に利用者と職員で参加している。 事業所主催の納涼祭では屋台やボランティアによる演芸を催し、利用者や家族等、地域の人々150名程が交流して楽しむ機会となっている。 利用者と職員で自警団を結成し防犯パトロールを実施したり、子ども見守り110番や警察官立寄所となるなど、事業所自体が地域の一員としての役割を担い、日常的に地域の人々と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	民生委員や区長を通じて、閉じこもり高齢者への行事参加を呼びかけたり、管理者がキャラバンメイトとして認知症サポーターの養成講座を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	小規模との合同で運営推進会議を行わない、地域の方々やご家族、行政の方との話し合いの中で、サービス向上に活かせるものを取り入れて結果も報告している。	運営推進会議は3ヶ月に1回市職員の参加を得て開催している。 運営推進会議を避難訓練日に合わせて実施し、事業所内の状況の理解や有事の際の協力体制の足掛かりとなるよう工夫をしている。 事業所からは利用者の生活の様子や運営状況の報告を行い、出席者で意見交換をする場となっている。 管理者は出た意見や提案を自分たちでは気が付かない第三者の目での指摘事項と捉え、サービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域密着型サービス連絡会に参加し、行政との意見交換や相談を受ける関係を築いている。	市担当者への電話や訪問、市職員の事業所への来訪などを通して情報交換をしたり助言を受けながらコミュニケーションを図り、協力体制を築いている。 毎月開催される地域密着型サービス連絡会では、市内の事業所と市職員で交流し、空き情報の連絡や意見交換をして関係づくりに努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルに基づき、拘束を行わないケアの実践に努めている。どうしても生命に関わるような状況時は、ご家族にご説明し同意をいただいている。玄関の施錠もなるべく行わないよう工夫しているが、危険回避のために行う場合もある。	全職員が身体拘束の内容とその弊害を理解し、身体拘束をしないケアを実践している。緊急やむを得ない場合は医師や家族等、職員で協議し、家族等の希望にそった支援をしている。 身体拘束をする場合の同意書、経過観察記録、検討記録等の書類を整備している。 玄関は安全を考慮し利用者の心身の状態によっては施錠する場合もあるが、通常は自由に出入りができるようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止のマニュアルや勉強会を行い、虐待の知識を身に付けている。家族とのコミュニケーションを多くとり、介護負担や不安が減るよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者・ケアマネなど知識のあるものが勉強会の中心となり職員に伝えている。ご家族へは、ご相談があった場合に活用できるよう資料等を備えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約及び解除をする際には、利用者様やご家族に十分な説明を行い理解していただいている。不明な点に関しては、随時対応するようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が面会時には、こちらから積極的に声をかけ、利用者様の状況をお伝えし、ご意見やご要望を引き出すようにしている。意見箱も設置している。	管理者は利用者や家族等からの率直な意見がサービスの質の向上につながると考えている。 利用者からは日常の問いかけや会話の中から、家族等からは来訪時や電話連絡時に意見や要望を聴くよう努めているほか、意見箱を設置している。 重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに、玄関に掲示している。 出た意見等は全職員で話し合い改善に取り組むとともに、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや面談の時間を設け、職員からの意見や業務の問題点を話し合い、反映している。	管理者は職員が意見や提案を気兼ねなく出せる関係を築いており、職員会議や朝礼時に意見等を聞くほか、職員の態度や顔色から察知して昼休みなどにそれとなく話し合える場をつくっている。 法人の代表者と全職員が業務改善等について月1回話し合う機会を設けており、職員の意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価表で努力をアピールしてもらおう機会を作ったり、内外の研修を受けてもらい、向上心を持って勤務してもらっている。 勤務時間の配慮も行なっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階に応じた研修などに参加する機会を設け、研修で学んだことを伝達研修するようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	月1回、つくば市の地域密着型サービス連絡会に参加し、交流を図っている。施設・行事の見学なども行い、サービスの質を向上させている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	担当者やケアマネジャーにより、ご本人のご要望やお話を伺って、安心して利用していただけるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用時に、ご家族との話し合いの場を設け、安心していただけるよう努めている。随時相談を受けることもお伝えし、何でも相談していただける関係・環境を提供している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	つくば市地域密着型サービス連絡会より得た空き情報や施設情報をもとに、他サービスも含めて検討した後に必要時は入所の案内を行なっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と利用者が一緒に炊事・洗濯を行い、利用者様のお話を聞いたりしながら、喜怒哀楽を共感しながら生活している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人とご家族の関係が継続されるよう支援し、ご家族にも気軽にご要望や相談をしていただける環境を整えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方の面会やご本人の外出も継続できるよう支援し、日頃からも仲の良い方と同じテーブルに座っていただくなどの配慮をしている。	職員は日常の買い物に利用者と一緒に出かけたり、家族等の協力を得て親戚の集まりや墓参りなどに行けるよう支援しているほか、手紙の作成や電話の取り次ぎなどを支援し、利用者がこれまで大切にしてきた人や場所との関係が継続できるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立などしないように、職員は配慮しながら他者との関わりを継続的に支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	解約の際も、ご家族に気軽に立ち寄りいただけるよう言葉かけをし、いつでも相談に応じることも伝えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様との日常的なコミュニケーションから意向や要望などの情報を引き出している。 また、各職員からの情報を基に、利用者様の状態変化も随時把握している。	職員は日常の会話や表情、しぐさなどから意思疎通が困難な利用者も含めて、利用者の思いや意向の把握に努めている。 介護計画作成の前に全職員が利用者一人ひとりの目線に立って「してほしいこと」、「達成、解決するにはどうしたらよいか」などを用紙に記載し、その情報を基に利用者のニーズを把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に作成したカルテやコミュニケーションを基に、利用者様ひとりひとりの過去の生活歴や趣味、性格等を全職員が把握するよう努め、日々のケアや暮らしに活かすようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの過ごし方を記録し心身の状態変化等を全職員で把握するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画書を作成する際に、利用者様やご家族の意見や要望を聞き、職員間での意見交換も行った上で、ご希望に添った介護計画を作成している。 3ヶ月・6ヶ月でモニタリングを行い、状況により介護計画の見直しを行なっている。	介護計画は利用者や家族等の希望を取り入れて6ヶ月毎に見直しているほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合はその都度見直し、家族等の確認を得ている。 職員から収集した情報を基に分かり易く具体的な支援内容が作成されており、3ヶ月毎のモニタリングで援助目標や支援内容に修正を加えるなど、随時現状に即した介護計画を作成している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	経過記録を記入し、職員間でカンファレンスを行なって意見交換を行う機会を設けている。状態の変化がある場合は、ご家族にも報告して介護計画の見直しを行なっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々々の要望に対して柔軟に対応できるように、他職種との連携や他事業所との交流も行なっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	週2回の防犯パトロール活動やつくば市の花壇作りなどに参加し、出来ることを職員と一緒に楽しんでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時に受診医療機関は連携医療機関で良いか伺い、他病院の場合はご家族の希望で受診をお願いしている。	週1回から2回協力医療機関からの訪問診療を支援しているほか、歯科や眼科への通院を支援し、受診結果はその日のうちに家族等へ報告している。 その他の医療機関への受診希望がある場合は家族対応となるが、申し送り帳を作成して適切な医療が受診できるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	連携医療機関より、看護師が訪問し、健康管理に努め、全利用者様とコミュニケーションを図っている。必要時には受診の指示や連絡を取り合っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はサマリーを作成し担当の看護師に入所時の状態を報告している。早期退院ができるよう、病院と連絡調整を行なっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人やご家族と早い段階で希望を伺い、医師や看護師と連携をとりながら職員全員希望に添ったケアに配慮し支援している。	契約時に明文化された「重度化対応・終末期ケア対応指針」を利用者や家族等に説明し、同意を得ている。 終末期となった時点で主治医から家族等への説明がなされ、職員間での意思の共有を図ったうえでなるべく利用者や家族等の希望に那样よう支援しているほか、その時点で再度、終末期ケアの指針及び同意書を作成し、家族等と話し合うとともに結果をケース記録に記載している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	普通救命の講習を受講したり、急変時の対応ができるようマニュアルを基に勉強会を行なっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の消防署や消防団に協力を依頼し、避難訓練を実施している。訓練時に消火器訓練や通報の手順などを学んでいる。	年2回避難訓練を実施し、その内1回は消防署が立会っている。 避難訓練に地域住民の参加を得ているが、少人数に留まっている。 訓練時の状況や反省点、今後に向けての課題などを記録するとともに運営推進会議で報告している。 水、米、毛布、蛍光塗料ブレスレット等を備蓄している。 東日本大地震時には地域住民から発電機やガスコンロの提供を受けたほか、事業所を地域の避難所として開放するなど、地域との協力体制を徐々に築きつつある。	次回の避難訓練を夜間想定で実施することを期待する。 災害時に備え、避難訓練により多くの近隣住民の参加が得られるように取り組むことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇の研修や勉強会などで、一人ひとりの人格を尊重するよう学び、プライドを傷つけないような対応に努めている。 個人情報には鍵のかかる場所に保管している。	職員は利用者一人ひとりの個別性を尊重し、その人に合った話題を提供できるよう勉強したり、言葉遣いに気を配り、利用者が居心地よく過ごせるよう努めている。 管理者は利用者を「家族」という視点と同時に「お客様」という視点でみることも大切だと考え、職員に接遇に関する研修の機会を設けている。 個人情報の書類は名前など分からないように工夫して事務室に保管し、情報の漏洩に留意している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の要望や希望に添った対応をし、重度の認知症の方には、選んでいただけるような表現をしている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様一人ひとりのペースに合わせた生活を支援している。 畑作業や日課の水まきなどを楽しまれている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	有償ボランティアの理容師が2ヶ月に1回訪問し、利用者様の好みに散髪を行なっている。また、今までお化粧をしていた方には職員と一緒に化粧やマニキュアを塗るなどのオシャレも継続できるようにしている。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士の献立を中心に、希望があれば外食やバイキングの昼食なども行なっている。職員と一緒に食事の下ごしらえや配膳など出来ることをお手伝いしていただいている。	食材は宅配業者を利用し、カロリー計算された食事を利用者の咀嚼能力に合わせて調理して提供している。 自家菜園で収穫した野菜類を追加したり、行事食やたこ焼、ドーナツなどを利用者と職員で作る機会を設けているほか、庭にテーブルセットを出して食事をするなど、食事が楽しみなものになるよう支援している。 利用者はそれぞれの能力を活かしながら、食事の準備や後片付けなどを職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養計算されたバランスの良い食事を提供している。水分量や食事量をチェックし記録している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、声かけを行ったり、必要時には介助で歯磨きを実施している。寝る前の義歯消毒や経管栄養利用者様の口腔ケアも実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレでの排泄を行なっていただけるよう、排泄パターンや時間の把握に努め、おむつに頼らない排泄を心がけている。	職員は排泄チェック表を活用し、利用者一人ひとりの排泄のパターンを把握してトイレ誘導を行い、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。 夜間の場合もトイレ誘導やポータブルトイレの利用で、なるべくおむつを使わないよう支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜を多く取り入れる食事の配慮や、水分を多く摂れるよう促している。体操や散歩、畑作業も良い運動になっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	希望があれば優先して入浴していただき、入浴表に基づいて入浴している。菖蒲湯・ゆず湯などの季節感を味わっていただいている。	基本的には2日に1回入浴ができるよう支援しているが、利用者の希望があれば午前や午後、夜間いつでも対応している。入浴を嫌がる利用者には無理強いせず、職員や時間帯を変えて声かけをするなどの工夫をして入浴ができるよう支援している。菖蒲や柚子、バラ、炭、入浴剤などを使用して入浴を楽しめるよう支援している。浴室に暖房器を設置し、入浴直前まで浴室のドアを開けておき脱衣所との温度差をなくすように工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	シーツ交換・布団干し等、寝具の清潔を保ち安眠にむけ支援している。昼食後の静養や日光浴、散歩なども促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は利用者様一人ひとりの内服ファイルに基づきチェックリストを利用して薬の目的や用法・用量を確認している。医師の指示通りに服薬を行うと共に、服薬後の変化についても確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	畑の野菜の収穫や育てている花の成長を楽しみ、外へ出ることで気分転換の時間にもなっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人での外出は基本的に行っていないが、ご希望を元に、外出支援を行なっている。 ご家族との外出はいつでも出来るようになってきている。	天気の良い日は事業所周辺を散歩したり、庭にある東屋で池の金魚を眺めるなど、利用者が気軽に外気浴ができるよう支援している。 歩行が困難な利用者には、他の利用者や職員の助けを借りて外出ができるよう支援している。 公園での花見や紅葉狩り、水族館の見学など、利用者と職員が相談しながら計画し、利用者の希望にそった外出ができるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人で管理が難しい方は施設で管理しているが、外出や買い物の際はお財布を持って支払いなどを行なってもらっている。個人で管理を希望される方はお預けしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやりとりは支援しているが、現在は希望者がほとんどいない。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掲示物や花、植物で季節を感じていただいたり、室温や日当たりなども考慮している。	天窗を配置した居間は明るく、行事を楽しむ利用者の写真やキルトで作ったカレンダー、四季の花などが飾られ家庭的な雰囲気となっている。 共用部分のあちこちにソファやベンチが設置してあり、利用者の居場所づくりに役立っている。 節句や七夕、運動会、クリスマスなどの行事に飾りつけを施すなど、生活感や季節感を採り入れて利用者が居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関や廊下にソファを置いて、一人になれる空間を作ったり、仲の良い方々で過ごせつような工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使っていた馴染みの家具を自由に持ち込んでいただき、居心地良く安心して生活できるよう支援している。	居室にはエアコン、空気清浄機、ベッド、クローゼット、テレビが備え付けられているほか、タンスや布団、家族の写真や手作りの品、位牌など馴染みの物品が持ち込まれ、利用者が居心地よく暮らせる場所となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	わかりやすく看板で誘導できるようにしたり、安全に移動できるよう障害物や危険物が足元に無いよう配慮している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム楓

作成日 平成24年5月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	避難訓練を夜間想定で実施と地域住民の参加の取組みを望まれる。	地域の方の協力体制強化と夜間想定避難訓練を実施する。	地域の方の協力を得るよう関係作りに努める。 平成23年12月17日夜間想定避難訓練実施した。	6ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。